学校番号	３００２

令和８年度　農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「農業と情報」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ等）に対して、理解を深め、適切な使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・ワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのソフトの使い方や発表の方法、プログラミングの基礎的な知識、AI の利用方法や注意点などについて学び、それを利用して日々の学習に利用できるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・コンピュータの仕組みやネットワークの基礎的な仕組みを理解し、将来にわたって情報技術を利用し、新しく登場する最新技術についても理解が進みやすいための知識を身に着ける。
・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができ、問題を自己解決できるように調べることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・ワープロ・表計算・プレゼンテーションなどのソフトを利用することで、情報の整理や解析を行い、レポートの作成等、学習面において活用できるようにする。またプレゼンテーション等を用いた情報の発信を通して、自分の意見や学習における考察等を発信できる力を身に着ける。
【学びに向かう力、人間性等】
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・プログラミングを通してのアルゴリズムの基本的な考え方、物事の筋道を立てる考え方を学ぶ。また、生成ＡＩ等の正しい利用を学び、有効な利用ができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解 ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技術を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	私たちの生活と農業の情報化	○情報の基礎知識 ○タイピング ○ワープロの利用 ○ワープロの活用 ○Google Classroom の利用	a: 情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解している。情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技術を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている b:ワープロソフトを利用して、適切な文書を考えて表現すること	学習状況の観察 定期考査 実技テスト 発表	レポート ノート提出 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

			ができる。ワープロソフトの基本的な使い方を理解している。 c:ワープロソフトを通してコンピュータに興味を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。ワープロを利用しての作品を作成し、インターネットを利用しての作品材料の利用することができる。			
2学期	社会を支えるコンピュータ	○ネットワークの基礎知識 ○ネットワークのマナー ○情報セキュリティー ○表計算ソフトの利用 ○表計算ソフトの応用 ○プレゼンテーションソフトウェアの使用方法	a: 情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任について理解している。 情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技術を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。 b:表計算ソフトを利用して、適切な計算式を使い、表計算の基本的な使い方を理解している。 c:表計算ソフトを利用してプロジェクト学習と結びつけ、探究的な活用ができる。	学習状況の観察 実技テスト 小テスト 発表	レポート ノート提出 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

3学期	私たちの生活と農業の情報化	○IOTの基礎知識 ○農業への情報の応用 ○プレゼンテーションソフトの利用 ○プレゼンテーションの作成と発表 ○プログラミングの基礎の学習(アルゴリズムの考え方) ○AIの利用方法と、使用上の注意点について	a:情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解。情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解している。農業分野において情報技術を活用するための基礎・基本的な知識や技術を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。 b:プレゼンテーションソフトの利用しプレゼンを行うことができる。プレゼンテーションソフトの基本的な使い方を理解している。 c:プレゼンテーションソフトを利用して、人に伝わりやすいプレゼンを考えている姿が見られる。 c:プログラミングを通してコンピュータに興味を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。 A;B:C: Geminiやノートブック LMなどの情報収集型の AIや、Canva などの生成型 AI などを体験し、AIの特性やその正しい利用方法についてまなぶ。	学習状況の観察 定期考査 小テスト 実技テスト 発表	レポート ワークファイルの記述 発表 定期考査	学習状況の観察 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度